

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2021年10月度 番組審議会概要

2021年10月14日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子 木村 精治
上柳 正仁 飯野 勝己 松本 恵司 山本 正博(欠席)

— 議 題 —

番組名 「ただいま！テレビ」

放送日時 2021年9月16日（木）16時50分～19時00分

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

「ただいま！テレビ」は毎週月曜から金曜の夕方に放送している生放送の情報ニュース番組で、2019年7月にスタートした。放送3年目を迎えた今年7月からは一部企画の曜日変更などのリニューアルを行い、ニュースや生活情報、気象情報、県内各地の話題など、地域に根ざし、寄り添った番組をめざしている。

この日は、新型コロナワクチン接種に関する視聴者からの疑問や心配に専門家がリモート出演で答えるコーナーや、県内に接近・横断の恐れもある台風14号の進路予想と防災対策、特集では三島市のボードゲーム専門店の店主が企画したボードゲーム「みしマップ」を紹介した。

— 主なご意見 —

- ◎番組の持つ家庭的な雰囲気定着してきて、他局との差別化につながっていると思う。
- ◎以前はキー局に戻ると何だかほっとするような気がしたが、今は遜色なく、落ち着いて安定感があると感じた。
- ◎以前より番組全体にめりはりがあり、一つ一つの話題も印象に残るようになった。
- ◎17時台は主に地域や食に関する情報、18時台はニュースや新型コロナ関連を中心に、それぞれの時間帯の視聴ターゲットを意識していることが伺えた。視聴者の日常の現実感を捉えることは情報ニュース番組の大事な役割だと思う。
- ◎コロナに関する視聴者からの質問に専門家が答えるコーナーは、質問の選択や構成が非常によく考えられていて、具体的な情報が得られて中身が濃かった。見る側も参加でき、視聴者目線の企画だった。
- ◎冒頭から台風情報を入れ、番組内でも複数回にわたって伝えていた。普段は楽しく天気を伝える2人が緊張感を持って警戒を呼びかけていて、いつもと少し違う雰囲気から視聴者にもメッセージが伝わったと思う。ただ、玄関ロビーからでは、雲の動きや天気図など、台風の今後の進路を伝えるには少し物足りなくも感じた。
- ◎スタジオのモニターを活用するなど、視聴者に立体的に、わかりやすく伝える、テレビならではの工夫がもっと必要ではないか。
- ◎天気の情報コーナーだけでなく番組全編にわたって出してほしい。
- ◎「他局との差別化」は、レベルの高い難しいことをやれということではなく、記者やディレクターが生活者目線に立った独自の視点・切り口を持った企画を放送することが、今後「本当の差別化」に求められるのではないか。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2021年11月11日（木）の予定です。